

町田市議会議員・納税者主権

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

「保守の会」派室

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-2 2

☎042-724-2171

自宅 042-795-7361



## 第 1 定例会日程と決定事項



視察先の宮古島市は「辺野古論議」の真最中

今年の第定例会日程は特に長くなりました。通称 3 月議会と呼ばれてきましたが、いち早く、2 月 20 日に議案で決定する事項もあります。年度末を迎えた請負契約の変更が議案として出されました。この種の議案は否決とすると工事が宙に浮くこともあり、まず、議会では反対無く通るものです。

議会の日程では、この第 1 定例会では市長が提案する議案（予算案、条例案）の審議を代表質疑、個人質疑、そして委員会の審査を先に行い、その後、議員の本会議一般質問を行う体制に変更となっています。本来、議案の審査を先に行うのであれば、その採決もそれに続けて行い、その後じっくり一般質問（議員が自由に質問する）をする形式にした方がより濃密な日程になるのではないかと考えています。

議会を年中無休で開催するのが良いではないかという意見も耳にしますが、行政機関は必要最低事項を議会が決め、後は行政の役人がその決定範囲の中で工夫をこらし、事業運営を図るというスタイルがどこでも共通しているように見えます。

## 空自第 53 警戒隊は、女性隊長

沖縄県宮古島市を会派視察で訪ねました。航空自衛隊のレーダー基地があり、その訪問見学が叶いました。施設名は第 53 警戒隊・宮古島分屯基地という名称です。隊長兼司令は 1 等空佐の古田桂子氏でした。自衛隊 HP の古田基地司令挨拶の中に、「宮古島分屯基地は、我が国南西域の空を 24 時間 365 日、休むことなく警戒監視する任務を担っております」と基地機能を述べておられます。国内で最も緊張感が高いエリアと察せられました。

当日は、古田隊長自らが隊内食堂での昼食（隊員と同じメニューのハヤシライス：実費払）に同席され、最良の懇談の機会となりました。警戒隊の座学説明と施設見学を直接案内していただきました。この警戒隊は総勢 150 人、24 時間体制で国籍不明機への警戒が主任務ですが、空中衝突防止のためのレーダー助言業務も含まれていました。関連して、機器の保守部門、あるいはその管理、維持、支援業務を担当する業務部門を有することで、独立した機能を持っていました。それを統括指揮する古田一佐は、遠からず「将」となって防衛中枢で活躍される人材と見ました。



卓上に全員分のプレートと食事が配置

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（自宅）



町田市議会議員 **3 期連続トップ当選**

# 吉田 つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## 研修レポート①田代 杏夏

今回は町田新産業創造センターを訪れました。この機関は起業家に対する様々な支援を行っています。主な事業内容は創業者や中小企業の販路拡大の支援、経営スキルや資金調達に関する相談などです。起業だけでなく企業内の第 2 創業の支援も行っています。また支援を受けている企業の事業内容も様々で IT 関連やイベント関連など多種多様な企業の支援を行っています。

伊藤亨所長は元銀行員で、インキュベーション事業の役割と重要性についてお話しされました。コーディネーターの武田直也さんは元信用金庫出身で、中小企業診断士の資格を取った方でした。お二人とも金融機関のご出身であることが共通し、正確で丁寧な経営スキルや資金調達に関するアドバイスをするのに役立っているのではないかと思います。

町田市から世界に羽ばたく企業を生み出していくという大きな役割を担っているところであると感じました。(写真)伊藤所長に案内され、入居企業の社長さんに挨拶しています。



東海大学新 3 年生 田代 杏夏(第 43 期生)

## 研修レポート①秋山 真聖



玉川大学新 3 年生 秋山 真聖(第 43 期生)

町田市立小川小学校において南地区協議会主催で行われた焼き芋大会に参加しました。イベントは参加自由で、事前申し込みは不要でした。この大会は前日も盛況だったそうです。私たちは朝の 8:50 に集合して、下準備をしました。子どもたちが来る 10 時までに、さつまいもを新聞紙に包み、水で濡らして、それをさらにアルミホイルに包んだりなど、様々な準備をしました。お手伝いの方とおしゃべりしながら和気あいあいと作業し、子どもたちの到着を待つばかりでした。子どもたちがやって来て、ドラム缶の窯に火を入れさつまいもを焼いていました。家庭用の小さなガス火とは違い大きな炎が上がり、子どもたちの歓声も上がります。炎の強さにさつまいもが黒こげになってしまうのではないかと心配になる程でした。しかしスタッフの方は流石に手慣れた様子でいい感じに焼き上がり 50kg のさつまいもは、あっという間に、親子連れのおなかに入り、子どもたちの笑顔あふれる中、終了となりました。キャンプにでも行かないと直火にふれる機会などほとんどない子どもたちにとって、楽しい時間となった事でしょう。またぜひ参加したいと思いました。

★ 吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。